

乳辱メインの エロトラップ ダンジョン2





冒険者のミケは
同じく冒険者で仲間の
チサトが持ってきた情報を元に
財宝が眠るといふダンジョンに
二人で足を踏み入れたが



そこは財宝が眠る
ダンジョンなどではなく
踏み入れた若い女冒険者を
恥辱的な責めでいたぶるだけの
エロトラップダンジョンだった



翻られるだけではなく
乳首を性器に造り替えられた
二人の運命やいかに…





何コレ…？

なんだろう
この穴？

この大きさじゃあ
ミケでも
入れ無さそうだけど

こっちの壁には
何か書いてあるわね

「穴の奥から
這いずるモノに
身を委ね耐え続けよ」

「この先に進みたくば
向かいの壁にある穴に
己の乳房が入るように
身体を押し付けて」

「このダンジョンから
抜け出すには
ここを通る以外に無い」









な…なに!?
何か冷たいモノが
ボクの身体に…っ!



ヌル

あつ...あつ!
舐められてる!?
ボクの体...あ!?!?

ヌル

ち...乳首っ
だ...めえ!



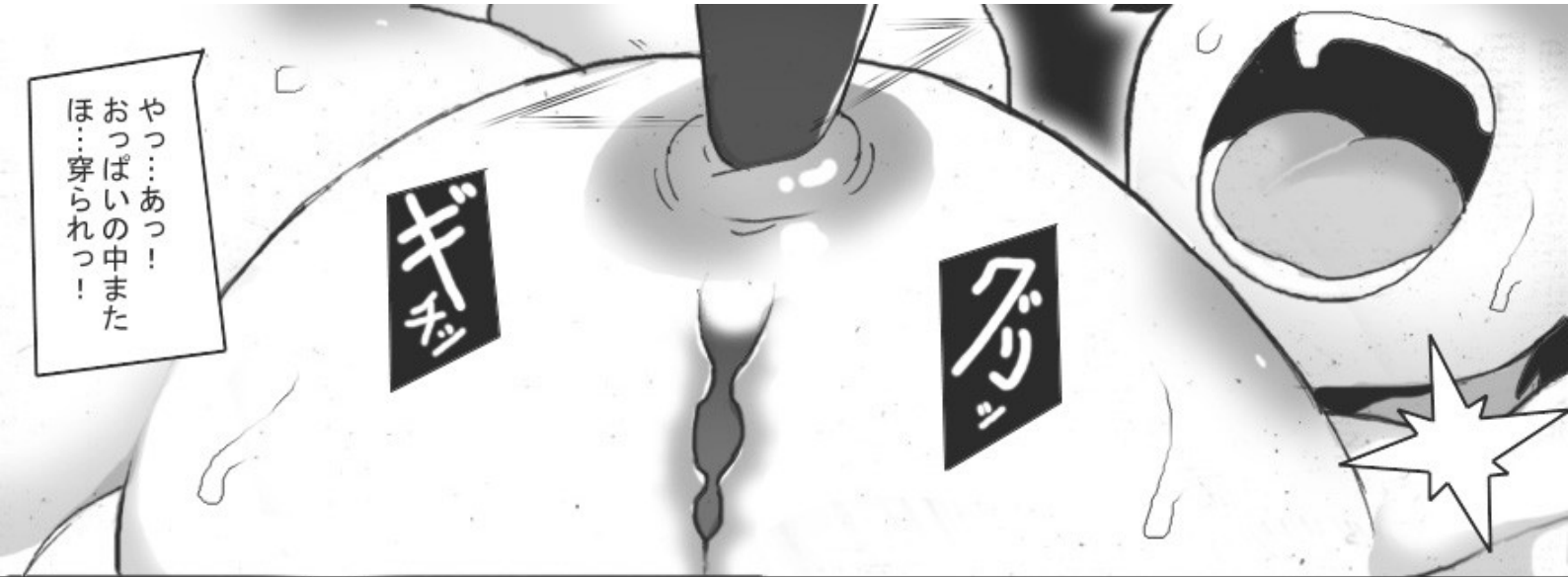
ヌル

何か冷たくて
細いモノに
舐られてる...っ!

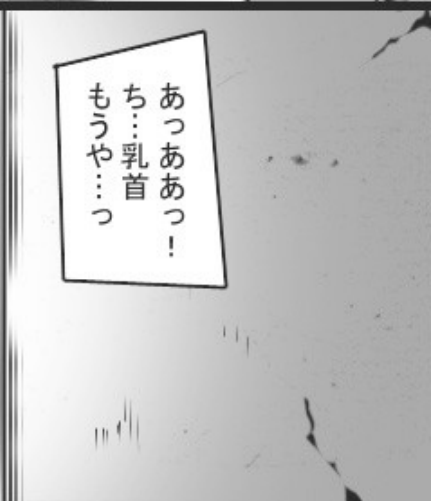
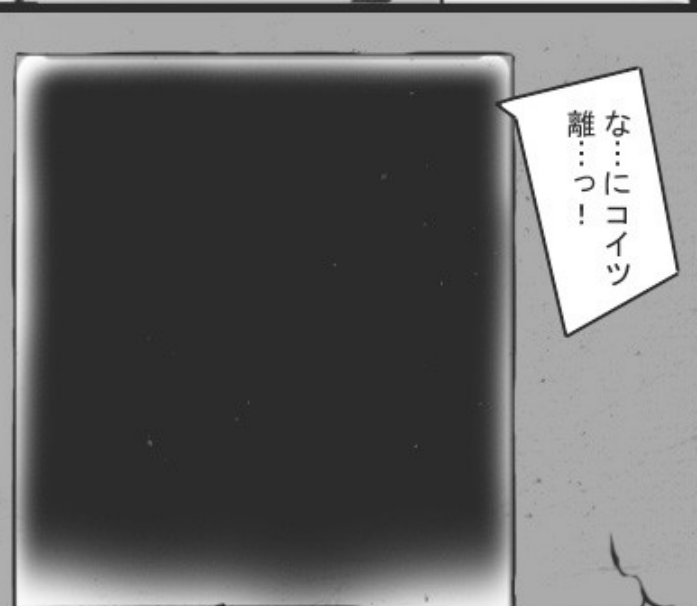
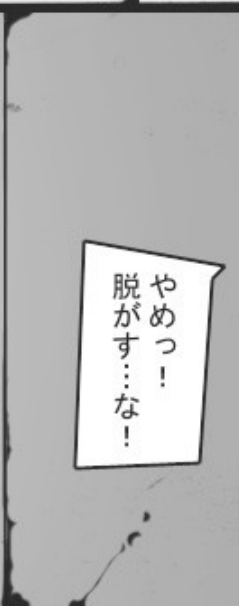
ゴッ

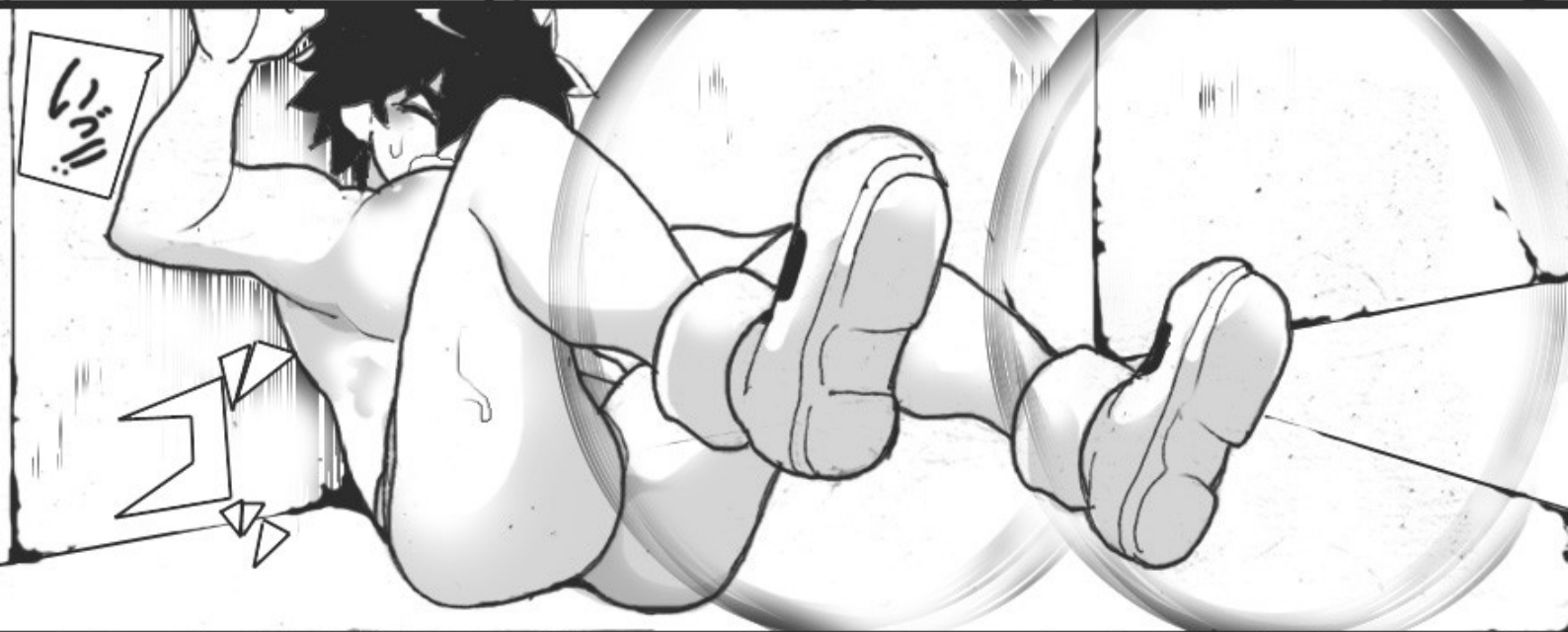
!?

スギッ















み...ミケ!
何これ...スライム!?

お

お

ん
お

グッ

グッ

ん

ズッ

ん
ラ

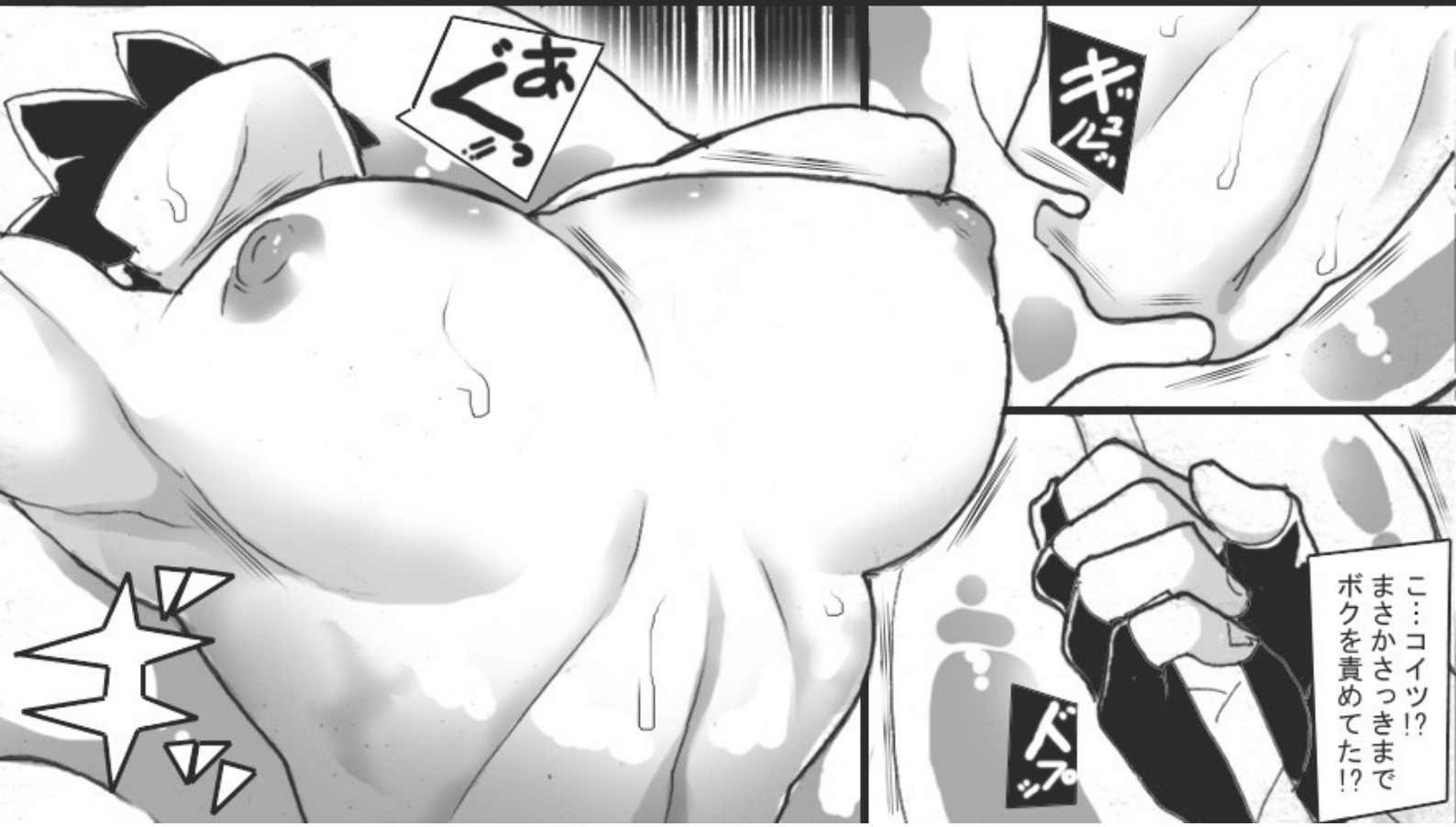
ズッ

グッ

グッ









いっ

ギッ

あゝ

ど

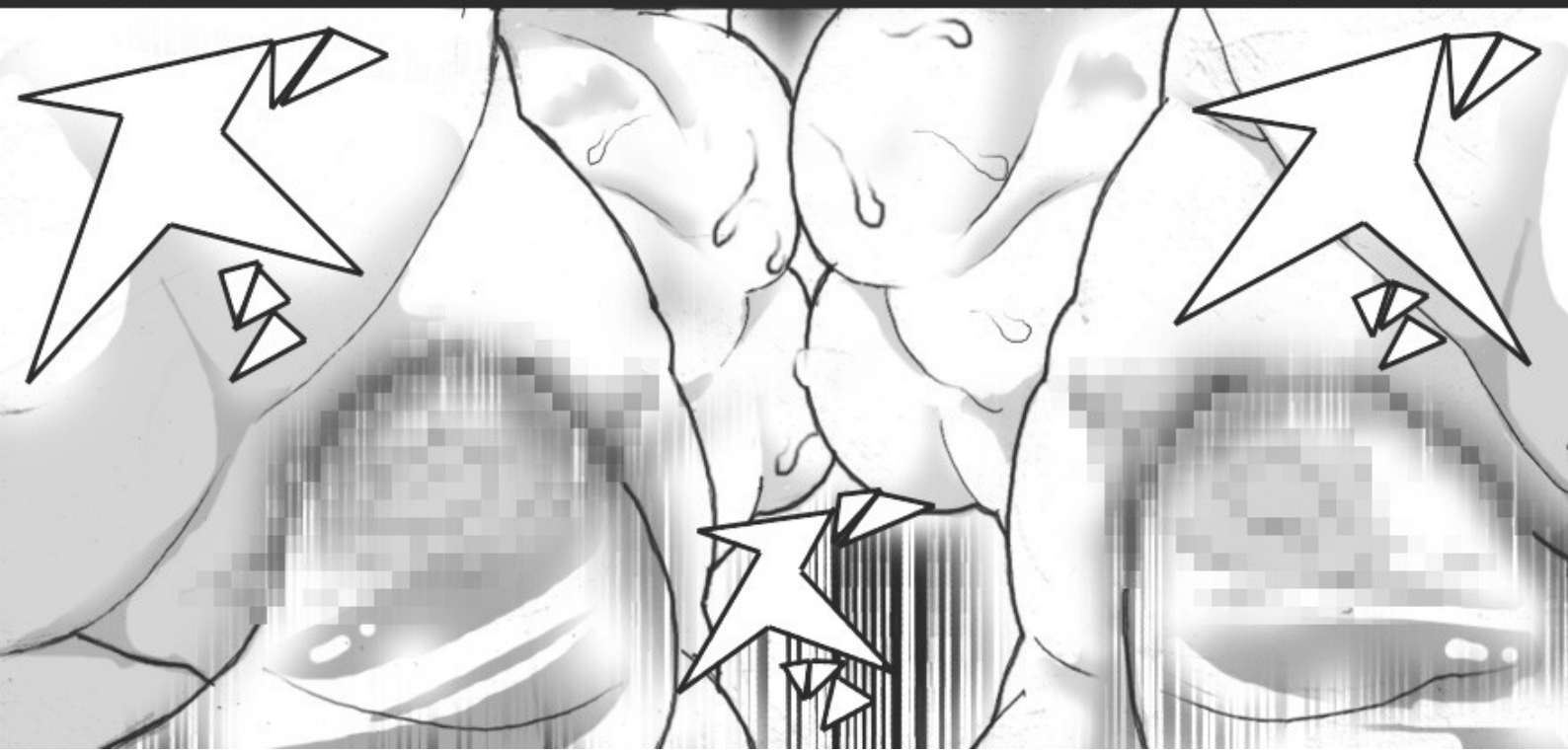
グッ

フッ

はあ

こ……この感覚
やっぱり……ううあ
さっき……の……









その枝を私の
体のどこでもいいから
触れさせて！



チサト！
アンタが握ってるの
私の燈火の枝でしょ！

え？



そ…その枝は本来
明かりを灯す為の
道具だけど…っ！

内包した魔力を
一気に解放すれば
一度だけ強力な
炎の魔法を
発動できるの！



グググ
グググ

あうっ

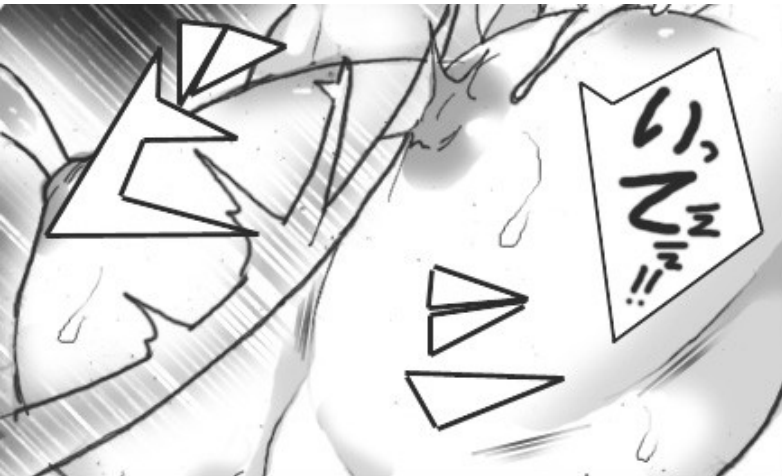


チサト…！
どうにかしてその枝を
私に…っ！



その…為には
私がその枝に…あっ！
触れて…ければ
いけないの…お！





…まったく
まだ子供も産んでないのに
母乳が出る体にされるわ
アンタとキスさせられるわ
思いっきり枝で引っ叩かれるわ
散々よ！

い…勢い
余っちゃって…

…ともかく
一刻も早く
このダンジョンを
抜け出さないと

私達の身体
もっと減茶苦茶に
されちゃうわ！



